

河川構造物管理研究セミナー

～三次元地形データによって変わる河川管理～



土木学会認定
CFD プログラム

国土交通省 国土技術政策総合研究所
国立研究開発法人 土木研究所



参加費無料

定員 150名

日時

平成30年3月12日(月)
13:15～16:40(受付 12:45～)

会場

霞ヶ関中央合同庁舎3号館
10階会議室

本セミナーは、河川構造物の維持管理に関して、最新の技術・研究情報等を提供するものです。航空レーザ測量、UAVレーザ測量、MMSなどによる三次元地形データが取得されるようになり、河川の計画・設計・施工・管理が三次元地形データに基づいて実施されつつあります。建設生産プロセスの効率化する上でも三次元地形データの活用は有効であり、CIM (Construction Information Modelling/Management) の本格的な導入が推進されています。今回は、特別講演として、熊本大学 小林一郎教授に「CIMを活用したインフラの維持管理、その展望」と題して、ご講演をいただく予定となっております。

プログラム	13:15～13:25	開会挨拶	国土技術政策総合研究所 河川研究部長	天野 邦彦
	13:25～14:25	【特別講演】 CIMを活用したインフラの維持管理、その展望	熊本大学大学院 特任教授	小林 一郎
	14:25～15:00	これからの河川管理	国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課 (河川保全企画室長)	齋藤 博之
	15:00～15:15	休憩		
	15:15～15:45	1. CIM活用に向けた取組	国土技術政策総合研究所 社会資本マネジメント研究センター 情報基盤研究室 (主任研究官)	青山 憲明
	15:45～16:10	2. 三次元地形データの河川管理への適用	国土技術政策総合研究所 河川研究部 河川研究室 (主任研究官)	福島 雅紀
	16:10～16:35	3. ゴム引布製起伏堰(ゴム堰)のゴム袋体損傷と維持管理	国立研究開発法人 土木研究所 技術推進本部 先端技術チーム (主任研究員)	中島 淳一
	16:35～16:40	閉会挨拶	国立研究開発法人 土木研究所 技術推進本部長	並河 良治

申込方法

- こちらのメールアドレスよりお申込み下さい。⇒ nil-kasenbu@mlit.go.jp
- 定員になり次第締め切らせて頂きますので、お早めにお申し込み願います。
- 当日は受付にて、名刺及び申込み時の返信メールのコピーをお渡しく下さい。

定員

150名

問い合わせ先

国土交通省 国土技術政策総合研究所 河川研究部 (河川構造物管理研究タスクフォース)
TEL: 029-864-4845 FAX: 029-864-1168 E-mail: nil-kasenbu@mlit.go.jp
※会場へのお問い合わせは、ご遠慮頂きますようお願い致します。

主催

国土交通省 国土技術政策総合研究所
国立研究開発法人 土木研究所

後援

(公社)土木学会、(一社)建設コンサルタンツ協会、
(一社)日本建設業連合会、(一社)河川ポンプ施設技術協会

会場アクセス

- 【住所】
東京都千代田区霞ヶ関2-1-3 中央合同庁舎3号館
- 【最寄り駅】
○東京メトロ丸ノ内線・日比谷線・千代田線
霞ヶ関駅 A2、A3a、A3b 出口
○東京メトロ有楽町線
桜田門駅 2番出口

